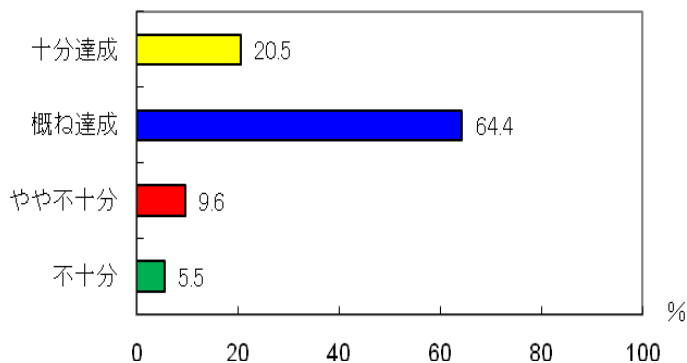


前期保護者アンケートの結果分析と改善の方向

(アンケート回収率 1年 89.5% 2年 87.5% 3年 84.8% 全体 86.9%)

(1) 学校経営方針

学校は 学校経営の基本方針を分かりやすく伝えている



1 分析と考察

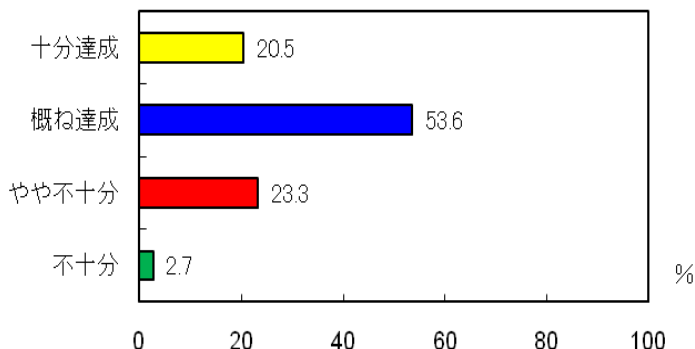
- ・P T A総会の折に、学校教育基本計画を配布するとともに学校長が説明を行った。約85%の保護者に理解していただいた。

2 今後に向けての改善策

- ・グランドデザインに盛り込んだ、本年度の重点の実施に努め、課題の解決を図っていく。
- ・管理職による授業参観の実施及び授業改善を推進する。

(2) 確かな学力プロジェクト

学校は 少人数学習やTTに加え、個に応じた学習支援に取り組んでいる。



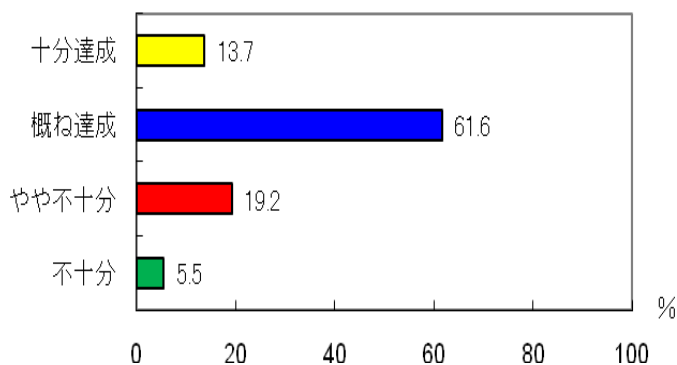
1 分析と考察

- ・約74%が概ねよいと評価している。T Tの教科を拡大したことや相談の時間での学習支援が評価されたと思われる。
- ・反面、約26%がマイナス回答をしており、個別の指導あり方などもう一步の改善が求められている。

2 今後に向けての改善策

- ・家庭学習プリント等を活用し、定着度に応じた学習支援を行う。
- ・授業においては、実態に応じた別室指導等も検討実施する。
- ・相談の時間の有効活用を図っていく。

学校は 学習支援日の支援内容や家庭学習の仕方を改善し学力向上に努めている。



1 分析と考察

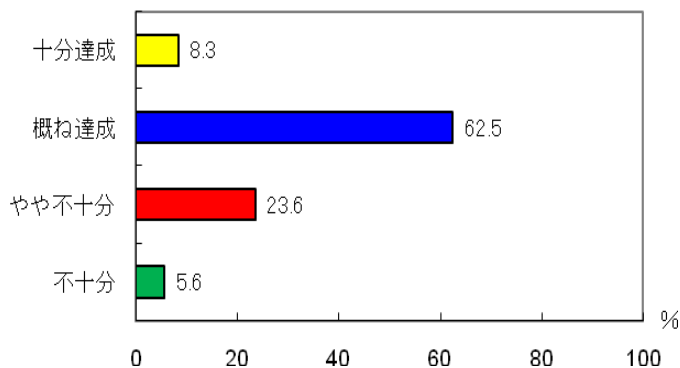
- ・約75%が概ね達成、達成であった。学力向上支援や克己ドリルの取り組みが定着し生徒の学習意欲が高まってきたことが、よい評価につながったと思われる。
- ・家庭学習取り組みについては、もう一步の感があり、25%の不十分、やや不十分の回答につながっていると思われる。

2 今後に向けての改善策

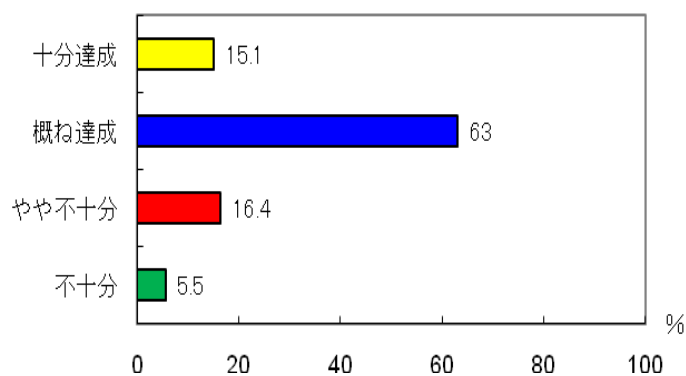
- ・克己ドリルの取組が定期テストに反映されることが明らかになった。(データ)ドリル内容の充実と家庭学習のめあてを持たせるよう更なる改善を図っていく。
- ・客観的なデータをもとに、授業改善を行う。

(3) 戸隠を愛する豊かな心プロジェクト

学校はキャリア教育を通して、社会生活を見据えた進路学習に取り組んでいる。

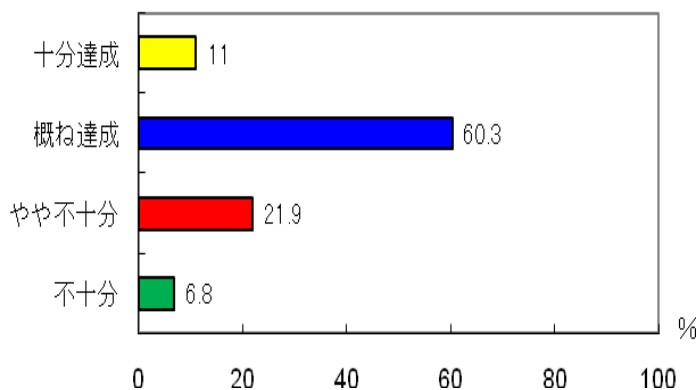


学校は生徒のよい面をとらえ、必要とされる存在であることを認識させている。



(4) 縦の接続プロジェクト

学校は生徒の相談や悩みごとに、迅速・丁寧に対応している。



1 分析と考察

- ・約 70%がプラスであったが、約 30%がマイナス回答であった。今年度からのスタートであったが、ねらいや活動内容等について、十分な説明がなされていなかったと反省している。
- ・年間を通しての活動であるが、道徳、学級活動、学校行事等の広報が不十分であった。

2 今後に向けての改善策

- ・各学年の取組について、学年便りや学級懇談の折に広報していく。
- ・学級活動、道徳、行事を通して自己の確立を図りながら、人間関係のあり方を構築していく。
- ・「戸隠week」の反省を行い、次年度の体験活動に反映させていく。

1 分析と考察

- ・十分達成と概ね達成を合わせた評価が 78%であり、昨年度よりも 3 ポイント上昇した。
- ・道徳や人権同和教育等で、人間関係についての授業を行ってきたことや学級だよりの充実の成果だと思われる。

2 今後に向けての改善策

- ・道徳の授業を通して、肯定的な自己理解の積み上げを行う。
- ・「戸隠week」や紫峰祭を通して、自己の役割を果たすことや他者との交流の中で、自己有用感を実感させる時間をとる。
- ・人間関係づくりのスキルアップトレーニングを実施する。

1 分析と考察

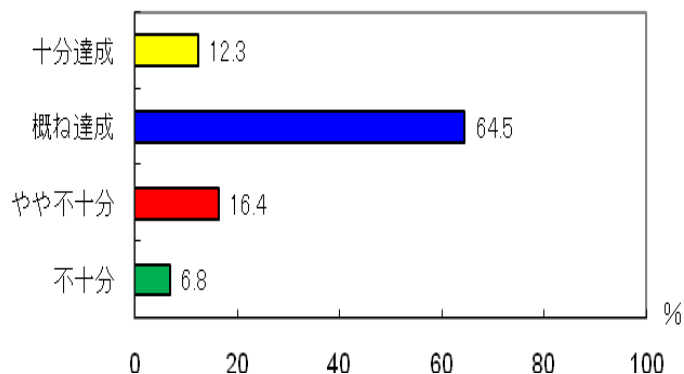
- ・十分達成と概ね達成を合わせた評価が 71%で、昨年度に比べ 5 ポイント減少した。相談の時間を設けて対応してきたが、改善が求められている。
- ・部活や進路など生徒に考えさせたいという思いもあり難しさがある。意図するところが伝わらず不信感につながった事もあった。

2 今後に向けての改善策

- ・他者との関係に視点をおいた道徳の授業を通して、問題をどう解決すべきかを問い合う場を設けていく。
- ・生活記録での応答や生徒の訴えに対して丁寧に対応するとともに、関係者への報・連・相の徹底を図る。

(5) 開かれた学校プロジェクト

学校は 生徒が創る活動を大事に取り上げ、学校全体で取り組んでいる



1 分析と考察

・生徒会が中心となり、伝統づくりということで「あいさつ」に力を入れて活動し成果が出てきていると思われるが、マイナス評価が約23%ありもう一歩であった。

・これからの行事の中で、生徒たちの活動の実態やその意図が見えるよう配慮していく必要がある。

2 今後に向けての改善策

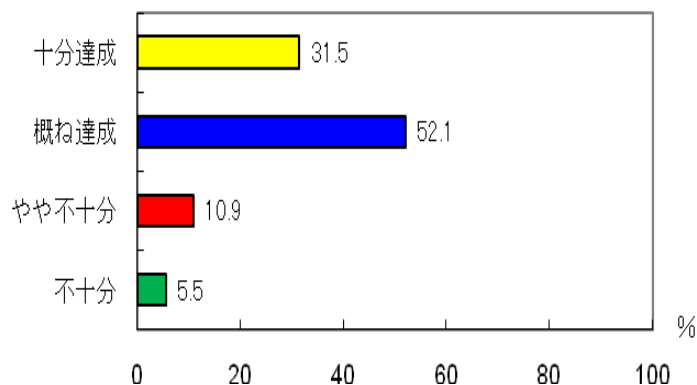
・生徒たちが、発信していく場を大事にし、その成果は生徒に還元していく。

・生徒集会や委員会活動の充実を図るとともに、生徒が動くことで、学校が変わるという経験をさせる。

・あいさつに加え、もう一つ伝統となる活動を創造していきたい。

(5) 健やかな体プロジェクト

学校は 家庭との連携を図り、健康食育を進めている



1 分析と考察

・概ね達成を含め、84%がプラスの評価をしている。給食試食会後の学習会や教養部との連携事業がよい評価につながったと思われる。

2 今後に向けての改善策

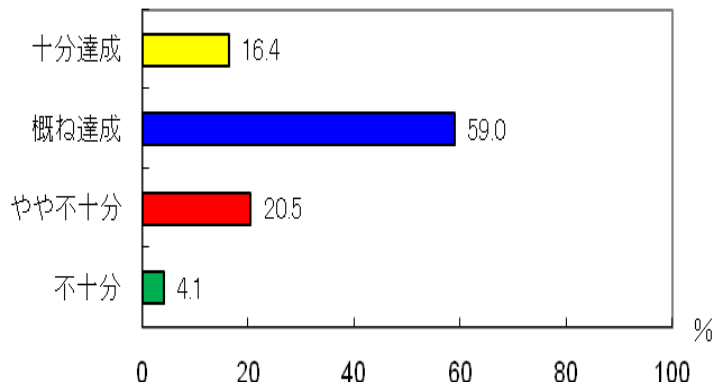
・健康食育ランドデザインに基づく活動を推進する。

・衛生委員会による地産地消の推進活動の充実を図る。

・学校保健委員会の開催および地域学校保健委員会を設立させる。

(6) 横の連携プロジェクト

学校は戸隠の子どもを育てるという視点で、家庭、地域、学校の連携を進めている。



1 分析と考察

・概ね達成を含め、75%がプラスの評価をしている。反面、戸隠にこだわりすぎるといった意見もある。

・家庭との連携という面では、家庭への連絡、協力依頼等で、遅いと思われる感がある。

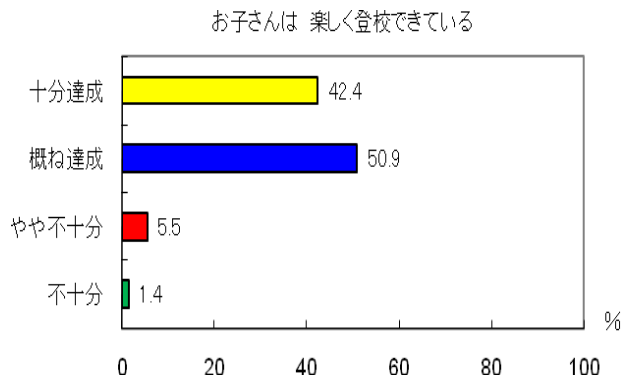
2 今後に向けての改善策

・今、学級ではどんなことを目指し、どんな取り組みをしているのか、どんなことを家庭に協力してもらいたいのかを学級通信等で広報する。

・生徒の成果や課題について、学級PTAできちんと説明していく。

・戸隠の子どもにつけたい力の決めだしを行い、次年度の教育活動に反映していく。

(7) 生徒の生活状況

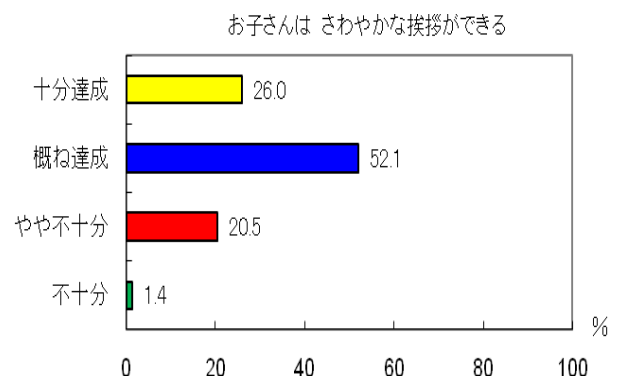


1 分析と考察

・約93%がプラスの評価をしており、生徒たちは、楽しく登校できていると思われる。やや不十分、不十分は6ポイント減少したが、約7%の生徒については、その理由を把握し整理する必要がある。

2 今後に向けての改善策

- ・個々の生徒に目を向け、友人関係や学習状況について共通理解を図り、少しの変化を大事に対応していく。
- ・生徒個々の関心がどこに向いているか整理し学年で共有する。

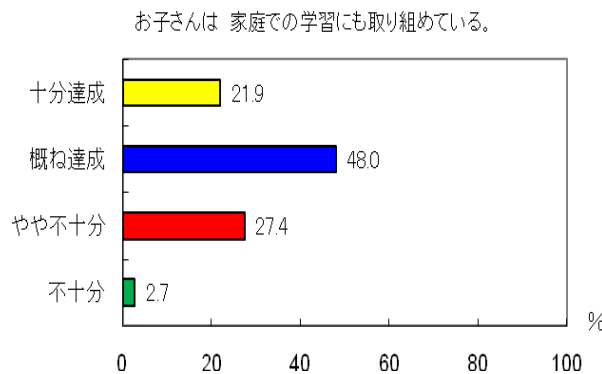


1 分析と考察

・78%がプラスの評価している。来校者からはたいへんよいという評価ももらっているが、約22%がマイナス回答をしており改善が求められている。

2 今後に向けての改善策

- ・心が伝わる挨拶や相手意識にたった挨拶のあり方を問い実践していく。
- ・生徒会テーマの具現に向けて、時々職員からも意識付けを行い本物にしていく。
- ・不審者への対応指導を含め、地域での挨拶の充実を図る。

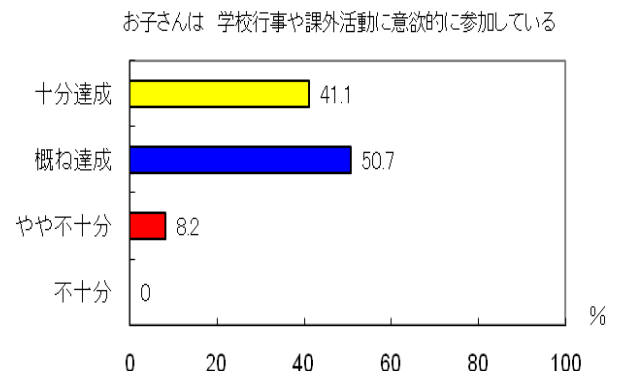


1 分析と考察

・約22%が十分達成と回答しているものの、約30%は改善を望んでいる。
・やる気になって取り組む生徒が出てきた反面、意識がもう一步の生徒も見られる。

2 今後に向けての改善策

- ・意欲的に学習できている生徒への継続支援を行うとともに、他の生徒の意識改革を進める。
- ・生徒がめあてを持って、家庭学習に取り組めるような方策を構築する。
- ・宿題の具体化と提出ノートの充実を図る。



1 分析と考察

・十分達成が約40%あり、約9割のプラス評価をいただいた。今後の学校行事や部活動についても充実を図りたい。
・部活動については、保護者会との連携が必要となっている。連絡は密にとるようにしたい。

2 今後に向けての改善策

- ・行事の家庭連絡は早めに通知し、協力いただけるよう配慮する。
- ・部活動については、顧問の現場指導の徹底を図る。また、スポーツ文化活動検討委員会を通して、部活と社会体育・社会教育のあり方を検討していく。